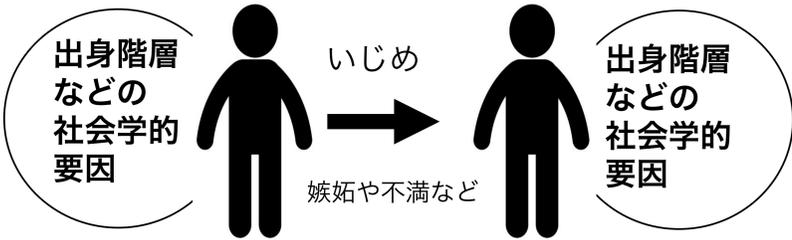


研究の背景と目的

- 本研究のRQ
「誰がいじめ、誰がいじめられるのか」
「加害者被害者は何をいじめと捉えるのか」



なぜ出身階層によっていじめが規定されるのかを、被害・加害両者の出身階層から明らかに

調査項目

- いじめ被害/加害経験
「あなたは15歳のときに以下の経験がありますか」
→いじめの加害経験/いじめの被害経験の両方をたずね、計2130サンプルを回収
- いじめの内容
「仲間外れにされた」、「からかわれた」、「脅された」、「叩かれたり押されたりした」、「ものをとられたり壊されたりした」、「意地の悪い噂を流された」
- いじめの頻度
まったく/年に数回/月に1回/週に1回

加害経験・被害経験割合と属性

	被害経験		加害経験		合計
	あり	なし	あり	なし	
男性	126 20.6%	487 79.4%	57 9.3%	556 90.7%	613 100.0%
女性	327 21.8%	1171 78.2%	86 5.7%	1412 94.3%	1498 100.0%
合計	453 21.5%	1658 78.5%	143 6.8%	1968 93.2%	2111 100.0%

被害経験: $\chi^2 = 0.419$, $df = 1$, $p - value = 0.559$

加害経験: $\chi^2 = 8.718$, $df = 1$, $p - value = 0.004$

	まったく又はほとんどない		年に数回	月に数回	週に1回以上	全体
	まったく	ほとんどない				
仲間外れにされた	1529	342	117	142	2130	
からかわれた	1256	453	226	195	2130	
おどされた	1919	108	54	49	2130	
物を取られたり、壊されたりした	1856	157	65	52	2130	
たたかれたり、押されたりした	1851	152	70	57	2130	
意地の悪い噂を流された	1628	254	137	111	2130	

	まったく又はほとんどない		年に数回	月に数回	週に1回以上	全体
	まったく	ほとんどない				
仲間外れにした	1872	206	61	31	2130	
からかった	1407	439	202	82	2130	
おどした	2003	66	41	20	2130	
物を取ったり、壊したりした	2007	69	33	21	2130	
たたいたり、押したりした	1942	117	49	22	2130	
意地の悪い噂を流した	1931	124	54	21	2130	

まとめと考察

- まとめ
 - ・いじめ加害経験および被害経験と性別との関連について、被害経験は女性の方が男性よりも割合は高いがカイ2乗検定は有意ではない。
 - ・一方、加害経験では、男性の方が女性よりも割合は高い。また、加害経験の有無と性別との関連はカイ2乗検定の結果、有意であった。
 - ・被害/加害の頻度
 - 「おどされた」、「物を取られたり、壊されたりした」、「たたかれたり、押されたりした」といった犯罪行為や物理的・身体的行為は頻度が低い
 - 「仲間外れにされた」、「からかわれた」、「意地の悪い噂を流した」といった精神的行為は頻度が高い
 - ・対応分析
 - いじめの主観的被害/加害経験の有無とそれぞれの頻度は関連がない
 - 加害・被害ともに次元1では1回もないかそれ以外かで分布が広がり次元2では週1回以上かそうでないかで別れている

調査概要

- データ
 - ・調査タイトル
「学校におけるいじめと家庭環境に関するウェブ調査」
 - ・実施会社
NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション 株式会社
 - ・実施時期
2021年6月20日～30日
 - ・実施方法
調査会社のモニターがWeb上で回答
 - ・倫理承認
実施にあたり、東北大学大学院文学研究科調査・実験倫理委員会より承認を受けました。
 - ・回収にあたっては、回答時間なども考慮

- いじめの相手
年下/同年/年上/他校の生徒
- いじめの状況
学校/習い事/ソーシャルメディア/その他
- その他の変数
 - ・性別 ・年齢 ・居住地 ・職業 ・未既婚
 - ・15歳時の居住地、家庭環境
 - ・両親の学歴 ・両親の働き方 ・両親の仕事内容

いじめの内容とその頻度

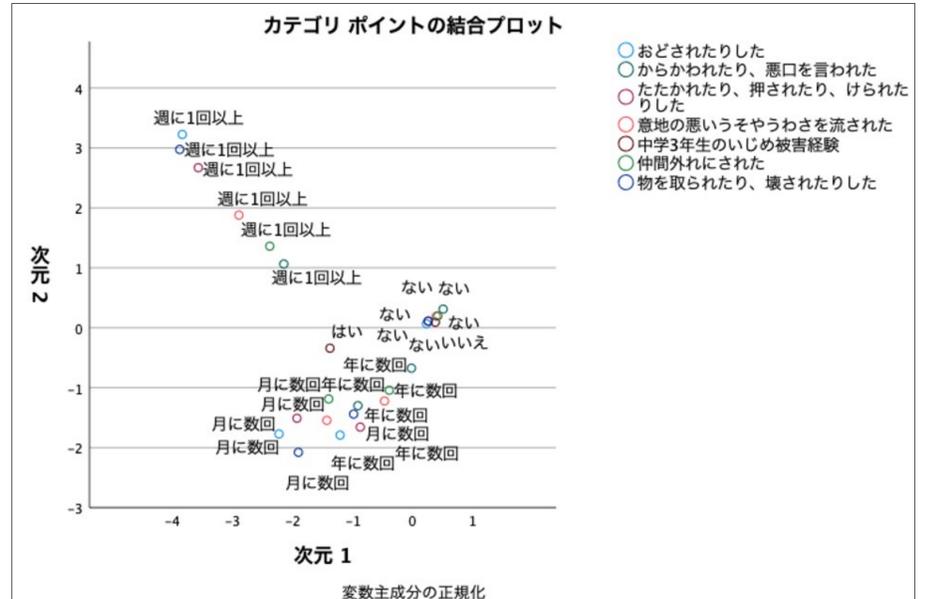


図1 いじめの内容と頻度、いじめ主観的被害経験の対応分析

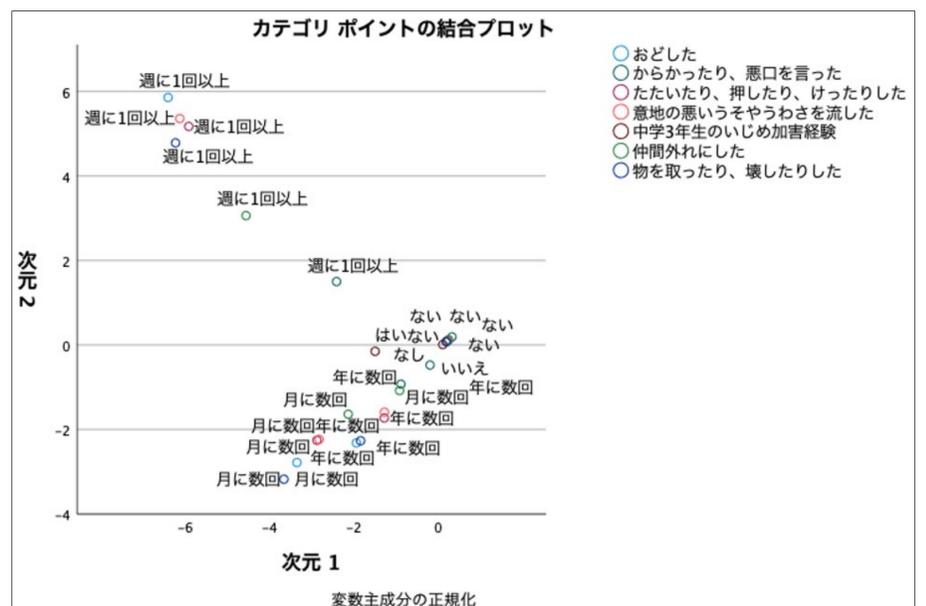


図2 いじめの内容と頻度、いじめ主観的加害経験の対応分析

今後の課題

- ・Web調査でたずねた社会経済的地位といじめ加害/被害の関連を検討
→社会経済的地位ごとに対応分析を回してみる
- ・いじめの相手と状況についても詳細な分析をすすめる
→相手や状況によって差があるのか
- ・男女別の分析
→性別による違いを確認